



Creating My Future

前期のまとめの時期となりました

今年も暑かった夏が過ぎ、9月も終わりの時期を迎えました。学校の取組も、前期のまとめの時期となります。感染症対策をしながらの教育活動も3年目を迎え、自分たちの活動を考える際、子供たち自身ができることとできないことを判断して、「活動の本質や目的を考えながら取り組むこと」を大切にすることがみられるようになりました。



本日、通知表とともに前期を振り返ったキャリア・パスポートを持ち帰っています。前期に頑張ったことについて学年の発達段階に合わせて振り返り、分析し、次の目標をイメージしている様子が見られます。ぜひ、お子さんと一緒にこのキャリア・パスポートと通知表「附属の子ども」をご覧になりながら、前期の成長を認め、励ましていただきたいと思えます。また、よりよくなるために後期に取り組んだほうが良いことについても話し合ってくださいと幸いです。

前期は、感染予防や熱中症対策をはじめとする様々な活動に対し、たくさんのご支援とご協力を賜りましたことにより感謝申し上げます。後期の教育活動についても変わらぬご支援・ご協力をいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

「キャリア・パスポート」の取組にご協力ください

「キャリア・パスポート」とは？

持続可能な社会の作り手としての資質・能力を身に付けるため、新しい学習指導要領が2020年度から実施されました。学校教育は、この「学習指導要領」を基準にした教育活動を行っています。

その中でも、自分の可能性を自覚し、将来的に自己実現を図っていく力を育てるための新しい取組として、学習指導要領に取り入れられたのが「キャリア・パスポート」です。

行事や学級活動などの活動にあたり、自分で目標を立てて取り組み、一連の活動の最後に実際の自分の取組の様子がどうだったのかを振り返る活動を「キャリア・パスポート」と呼ばれるシートに記入します。記録を蓄積していくことで新たな生活や学習への目標、将来の生き方について考える教材として活用していきます。

このキャリア・パスポートは1年単位で終わるものではなく、小学校6年間のシートをファイルに蓄積し、中学校・高等学校の進学先にも引き継がれ、教材となっていきます。

2年生以上は、昨年度のシートや今年度の「スポーツ祭」のシートがファイリングされ、学校に保管してあります。

ご家庭にお願いしたいこと

お子さんは、本日、前期の通知表とともに「前期の振り返り」のキャリア・パスポートをご家庭に持ち帰っています。

自分の前期の取組がどうであったかという「振り返り」について、学級担任からのコメント欄とご家庭からコメントをいただく欄が設けられています。

お子さんの「振り返り」と担任からのコメントをご覧いただきましたら、お子さんの頑張りを認め、励ましていただくようなコメントをご記入いただき、「前期の通知表の封筒に入れて」担任まで返却いただけますよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、「キャリア・パスポート」は高等学校進学まで使用する教材です。紛失のないよう、ご配慮ください。



～お知らせとお願い～

よろしくお願いいたします



10月3日から衣替えとなります

先日、お知らせしましたとおり、10月3日(月)から冬服の着用となります。寒い日には上着の下にベストの着用も認められておりますので、その日の天候や体調に合わせた服装で登校できるよう配慮をお願いいたします。

※ 上着を着用せずにカーディガン等を着用して登校することは認めておりません。制服の乱れが生活の乱れにもつながりますので、学校でも改めて指導してまいります。ご家庭でもご配慮をお願いいたします。

引き続き、健康観察カードへのご協力をお願いします！

日頃より、健康観察カードへのご協力、本当にありがとうございます。渡島管内でも少しずつコロナの感染者数が減少しておりますが、今後も桐の子発表会や学習参観の実現に向けて、より一層、子供たちの健康に留意して取り組んでまいります。

ご家庭におかれましても、お忙しい朝に大変恐縮ではございますが、引き続き、検温と健康観察カードの記入、提出にご協力いただき、学校と家庭が一体となってお子さんの体調管理をしてまいりたいと考えております。今後もご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

「子供たちのかけがえのない命を守るために」～4校園合同避難訓練の実施

いまだに鮮明な記憶として残る大津波のニュース映像。2011年3月11日。東北地方で大地震が発生し、多くの命が失われました。あれから11年の時が流れましたが、住宅や自動車が模型のように大津波に流される映像は、脳裏から離れることはありません。

もしかしたら、私たちが住む町でも、大地震が発生するかもしれません。大地震が発生した際に、我々教職員は子供たちの命を守ることができるのだろうか。そんな疑念を払拭するためにも、日頃から危機意識をもち、有事を想定して訓練することが必要であると考えます。

本校では毎年、地震・火災・不審者侵入を想定した避難訓練を実施しており、避難訓練を通して、避難の仕方を確認するだけでなく、子供たちと教職員の危機意識を高めることを目指しています。しかしながら、万が一、冒頭で述べたような大地震が発生した際に本校だけが単独で行動するよりも、隣接する附属幼稚園、附属中学校、附属特別支援学校と連携し、情報を共有しながら、被害状況等をより正確に把握して行動した方が、より安全な避難が可能になります。

そこで、9月1日の「防災の日」を迎えるにあたり、8月30日（火）に4校園合同で、避難訓練を実施いたしました。初めての取組で、訓練を混乱なく進められるか不安もありましたが、子供たちのかけがえのない命を守るためには絶対に必要な取組であると考えました。避難訓練当日は、震度6の大地震が発生し、津波注意報が発令されたことを想定しました。子供たちは、防災用ヘルメットを着用し、教職員の誘導のもと、



「お（押さない）・は（走らない）・し（しゃべらない）・も（戻らない）・も（持たない）」を守り、迅速にグラウンドへ避難しました。そして、高学年の子供たちを中心にグラウンドに設置している災害備蓄庫から災害食などの備蓄物品を配付しました。また、安全な下校ができるよう、保護者の皆様のご協力を得て、引き渡し訓練も行いました。町会役員の方々には、徒歩で下校する子供たちを見守っていただきました。このように、可能な限り実際に大地震が発生したときのことを想定し、訓練を実施することができました。



今回の取組は、多くの方々のおかげで、たいへん有意義な訓練となりました。初めて取り組んでみたことで、明らかになった成果と課題を今後に生かし、継続して「子供たちのかけがえのない命を守るために」取り組んでいこうと考えております。お忙しい中、引き渡し訓練にご協力いただきましてありがとうございました。

【5年生】函館元町自主研修を振り返って

～実行委員長から一言～

8月31日（水）、5年生が函館元町自主研修を行いました。函館の魅力を再発見できたことに加え、来年の修学旅行にもつながるとても貴重な学習となりました。以下に、実行委員長 森悠人さんの振り返りを紹介します。

話し合いをスムーズに進めるためには、準備が必要である。今回、リーダーとして強く実感したことだ。

どんな行事にも計画がある。その日、その時間に絶対に終わらせなければいけないことが出てくる。いろいろな意見が出て限られた時間内に決定事項を作っていかなければならない。そのために必要なことが準備だ。事前の準備を十分にすることこそ、進行もスムーズに進めることができる。また、どうしても決めたいことや時間が余った時に行くことなど、優先順位をつけることができる。このようなことが行事の成功につながることを実感することができた。今回学んだことを来年の修学旅行などにも生かしていきたいと思う。

函館元町自主研修 実行委員長 森 悠人

教育実習終了～実習生にも子供たちにも貴重な経験になりました～

9月14日（水）で20日間の教育実習が終了しました。一緒に学んだり、遊んだりして、子供たちにとっても実習生にとっても貴重な時間となりました。

教育実習を終えて

二年団配属 鈴木優希

はじめは長いと思っていた四週間の教育実習でしたが、いざ始まると本当にあっという間でした。私は二年生の配属となりました。元気いっぱいの低学年の児童の前で授業を行うことは緊張の毎日でしたが、皆さんが一生涯懸命授業に臨んでくれたので、私も楽しんで一緒に授業を行うことができました。授業づくりや皆さんとの関わり方を先生方や実習生と話し合い、より良い授業を目指して共に励み、多くの人と関わることができました。

この教育実習では、一教員としての自覚をもち、行動できたと思います。この実習を通して学んだことや自信をつけたことを、これからの大学生活や社会人になってからの生活に生かしていこうと思っています。

改めて指導してくださった先生方、児童と保護者の方々、本当にありがとうございました。